

こまどりぐみだより(夏)

チャリティー第一保育園
令和6年9月発行



こまどり組1期(6・7・8月)の目標

〇6月の目標

・明るくのびのびと生活し、自分から体を動かすことを楽しむ。

〇7月の目標

・健康、安全な生活に必要な習慣に気づき、自分でしてみようとする気持ちが育つ。

〇8月の目標

・身近な環境に親しみ、触れ合う中で、様々な物に興味や関心を持つ。

◎カブトムシの幼虫の観察

さいかちの森に取りにいった幼虫を観察し続けました。「今日は土から顔出してるよ。おはようしてるみたい!」「あ!土が動いてる!土の中でダンスしてるのかな?」などと自分なりの表現をしてお友だちとの会話がたたくさん。見えるところに家を作ったさなぎが茶色から日に日に黒くなっていく様子には「もうカブトムシになっちゃう!?!」とワクワクが止まらない子どもたち。



◎カブトムシの遊ぶものを廃材を使って作ってみたよ

カブトムシは登ること、隠れること、広い場所が好きと観察して分かったことを参考にして、チラシ、おやつ箱、紙コップ、プチプチなどの素材を工夫しながら廃材をはさみやセロハンテープを使って作ってみました。カブトムシも遊んでくれ嬉しかったね。



◎泥んこ遊び

水が流れていく仕組みに気がきました。何度も遊ぶうちに、泥を削っていく際、浅いと×深いと流れやすいと発見。トンネルや道を作る時には、お友だちと話し合いながら作り遊んでいました。



泥がタプタプするのは何で?

坂をつけたら流れた!

水の勢いが足りないからながれないのかな? もっと流す?



◎成虫になったよ

観察し続けた幼虫がついにカブトムシに! 発見したときには、「見てみて~!カブトムシが出てきてる~!」と喜びを皆で共有しました。今年のカブトムシは前半にオス、後半にメスが多く出てきました。毎日、カブトムシが出ていないか観察は続きます...



◎カブトムシ遊び

カブトムシと触れ合いました。触れ合う中で生命の尊さに気づき、命あるものへの接し方を学びました。カブトムシは服や手、枝にはくっつくけどほかにどんなところにくっつくのかな? 結果、つるつるするところは滑って登れないことがわかりました。



どこならつかまれるかな~?

ぐによぐによするね

◎おわかれ

カブトムシが死んでしまったときにはお墓を作ってあげることに。どこに埋めたらいいかは皆で話し合い決めました。埋めた後は「生まれてきてくれてありがとう」と声をかけ、手を合わせていて、命には始まりがあり、終わりがあることを学びました。



うんとこしょ! どっこいしょ! ジャガイモよ、ぬける~

ズッキーニも大量に収穫! 収穫してもしても、たくさん実るズッキーニに不思議を感じ収穫の面白さを体験しました。

◎野菜収穫

ズッキーニ、ジャガイモの収穫。野菜の生育を観察し、ジャガイモの葉が枯れ始めてくると「そろそろ収穫できる?」と昨年の記憶を思い出し話す子どもたち。大きいジャガイモが土の中から出てきたときは「でっか~!!!」とびっくりしていました。



材料を三角や丸に切りました。初めはトッピングするだけだったけど形を組み合わせると顔になったよ

◎クッキング

ズッキーニでピザ作り! 「ズッキーニっておいしんだね」と育てた野菜を味わって食べていました。



◎流しそうめんごっこ

七夕でやった流しそうめんが楽しくて、今度は自分たちで廃材を利用して作ってみました。高さの調整も自分たちで決めていました。流した水は水遊びをしているところに運んだり、畑の水やりに再利用! 大きいものは流れにくいけど小さいもの、軽いものは流れやすいと気がきました。

